

カンボジア  
中央カルダモン森林保全プロジェクト

現地からのお便り

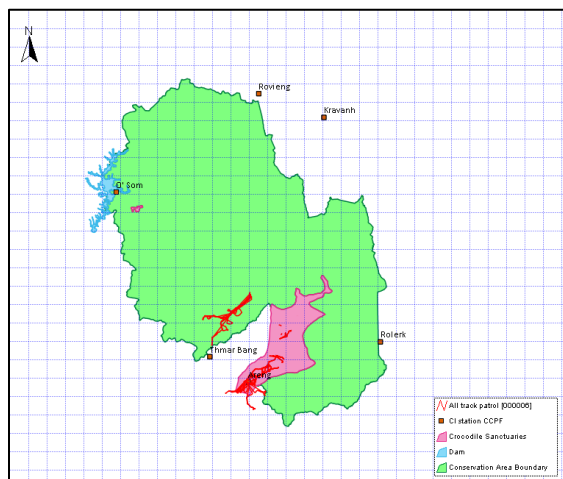
2015年8月  
コンサベーション・インターナショナル

森林パトロール

私たちのプロジェクトでは、SMART という空間情報を組み込んだモニタリング・報告ツール (Spatial Monitoring and Reporting Tool) を使っています。このツールを使うことで、いつどこをパトロールし、どんな問題が見つかったか、といった情報を簡単に整理することができます。

コミュニティからの SMART 報告

3つの村 (Tatai Leu、Chumnoab、Thmar Doun Pao) のコミュニティレンジャーチームが、それぞれの村の境界付近で 51 回、延べ 438 キロをパトロールをしました。



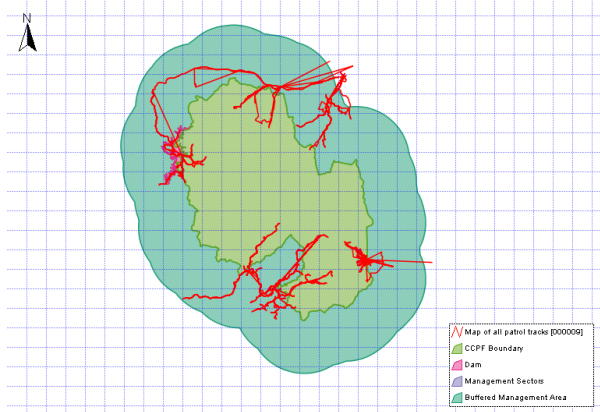
2015年4～6月の  
コミュニティレンジャーのパトロール(赤線)



女性コミュニティレンジャーたち

森林局レンジャーからの SMART 報告

現在、中央カルダモン森林保護区には、6箇所の拠点があり、46人のレンジャーがいます。4月から6月には、昼夜あわせて315回のパトロールを行いました。パトロールした距離はのべ6,280kmにのぼります。5台のチェーンソー、38本の高級木材、1.2立方メートルの木材、8本の麻薬の原料となる木材、7本の斧を押収し、書面による警告は2件、口頭警告は37件でした。



2015年4～6月の森林局レンジャーのパトロール(赤線)



押収されたチェーンソー

## トラストファンド(基金)の設立

中央カルダモン保護林トラストファンドは、そこに入れられたお金の利子で中央カルダモン保護林の活動を長期的に支える仕組みです。トラストファンドの運営を担う委員会の第一回会合が開催され、中央カルダモン保護林での取組みの歴史、トラストファンドの目的や機能、そしてトラストファンドという長期にわたって継続する資金メカニズムの重要性などが説明されました。トラストファンドを運営していく上で、とても大きな責任を持つ委員会は、カンボジア政府から2名、NGOから2名、大学から1名、民間企業から1名、先進国政府関係から1名の合計7名で構成されています。



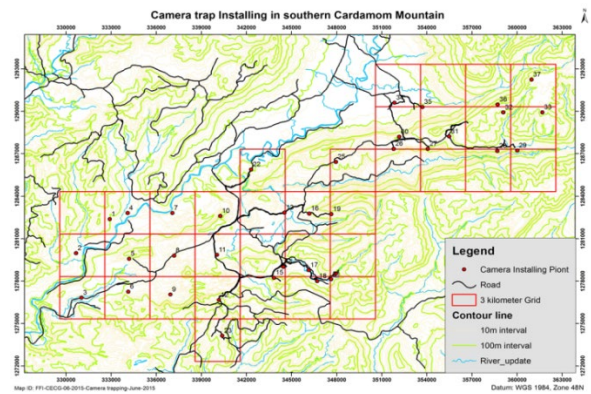
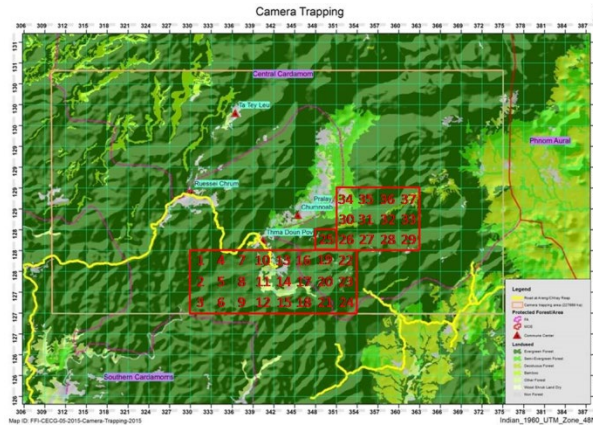
トラストファンド委員会の第一回会合の様子

既に全ての文書が完成し、第一弾の資金がトラストファンドの口座が置かれている銀行に入金されました。中央カルダモン保護林にとって、大きな一歩です。



## カメラトラップ(自動撮影機)の導入

6月、カンボジア森林局、FFI等と協力し、中央カルダモン保護林南部、アジアゾウの通り道でもあるアレン谷付近に37台のカメラとラップを設置しました。17人からなる3チームが森に6泊してようやく完了!



カメラトラップを設置した場所

設置作業に先立ち、アレンの森林局ステーション(拠点)でトレーニングが行われました。安全対策だけでなく、怪我や蛇にかまれること、脱水症状のような緊急事態に遭遇したときの対処法や誰に連絡するかなどの対応についても説明を受けました。最後に、応急手当セットを確認し、無線通信システムのテストもしました。



カメラトラップ導入前のトレーニング ©Conservation International/photo by Peng Ly

カメラトラップにより、調査地域にどんな種類の動物が生息しているかを記録することができます。緊急に保護すべき地域や動物の種類について知ることができるのに加え、中央カルダモン保護林の重要性を広く知ってもらう上で役に立つ情報も得られます。